



嘆きの神殿

いよいよ、ギルバレスが住むという山が、ソーサリアンの視界に入ってきた。頂上を雲に隠されたその山の中腹には、なにやらとてつもなく大きな、神殿のような建物があるように見える。そのまま歩を進め、目指す山のふもとまでくると、次第に、それが何であるかが、はっきりしてきた。峻険な山の、そのなかでもとくに切り立った崖の上に建つそれは、まさしく神殿であったのだ。

話によると、この神殿は、山の内部に作られた迷宮の入り口の門の役目を持っているのだという。しかも、普通の門とは違い、この神殿自体が幾層もの迷路になっており、それぞれの階に様々なトラップが仕掛けられているともいう。

その複雑さゆえか、エティスやソーサリアン同様、ギルバレスの企みに気づいた何人かの勇者も、ここまではたどり着くことはできたが、この神殿だけは誰ひとりとして突破できなかったのだ。だが、ひるんではいられない。ギルバレスを倒すには、ここを越える以外に、道はないのだから…。

木屋善夫のワンポイント・アドバイス



敵モンスター



僕のシナリオはね、そーんなに謎解きは難しくないと思うんだよね。でも、今回はちょっとアクション性を強くしたから、そういうところで引っ掛かる人が、けっこういるはずなんだ。

とくに7階の、下の写真のところが、一番大変だね。ここは、最初の床から半キヤラはみ出して、ウイスブが画面の端に現われたらジャンプ！ そのあとは、それぞれの床の左端ビツタリ^{ビツタリ}の位置から止まらずにジャンプすれば、一発で越えられるように作ってあるよ。



ジャグラー

迷宮の門たる神殿に用意された無数の狡猾で残忍なワナ。その最たるものが、ギルバレスが生んだジャグラーだ。本体のまわりの12個の貝は、ソーサリアンの剣を跳ね返す盾になるかと思えば、またヘビのように飛び回っては、ソーサリアンをねぶるように痛めつける。そのいやらしさ。まさに、大魔王ギルバレスの傑作といえよう。

